

クイックガイド

各部の名称



チューブアダプター

サンプルを採取しProCyte Dx*(プロサイト Dx)で処理する前に、検査器のサンプルトレーに正しいチューブアダプターが取り付けられていることを確認します。プロサイト Dxには、必要に応じてサイズの異なる採血管(チューブ)を使用できるよう、チューブアダプターが3つあります。



レギュラーアダプター

標準的な13 x 75 mmのチューブに使用
(VetCollect*(ベットコレクト)チューブ、ど)



マイクロアダプター

次のサイズの微量採血管に使用:
10.25 x 50 mm、10.25 x 64 mm、または
1.3 mL
重要:検査前に採血管のキャップを外してください。



QCアダプター

eCHECK*(XS) 品質管理用血液検体に使用

必要な検体量

プロサイト Dxは、さまざまな採血管(チューブ)と互換性があります。チューブの種類によって必要な検体量が異なるため、各メーカーの指示に従ってください。(たとえば、ベットコレクトチューブは1 mL、ザルスタット社製1.3 mLマイクロチューブは1.3 mL以上の検体が必要です)

- + EDTAと検体の適切な割合を保ってください。
- + 凝固や凝集につながる可能性があるため、規定量以上の検体をチューブに分注しないでください。
- + 赤血球収縮(円鋸歯状化)などの形態学的変化につながる可能性があるため、規定量以下の検体をチューブに分注しないでください。

患者検体の測定

1. IDEXX VetLab*ステーションで検査を開始します
(詳細は、IDEXX VetLabステーション簡易操作ガイドを参照してください)。
2. 検査器の選択画面で患者情報とサンプルの種類を確認した後、「ProCyte Dx」アイコンを選択し、「測定」を選択します。
3. 画面に表示されている手順を読み、「OK」をタップします。
4. サンプルトレーの所定の位置に適切なチューブアダプターがあることを確認します。
5. チューブを10回ゆっくりと転倒混和し検体と抗凝固剤を混ぜ合わせた後、すぐにチューブをサンプルトレーにセットします。
重要:マイクロアダプターを使用する場合は、チューブをアダプターにセットする前にキャップを外してください。
6. 検査器の「スタートボタン」を押します。サンプルトレーが自動的に閉まり、検査器が測定を開始します。

スタンバイモードを解除

プロサイト Dxは、ユーザーが設定した時間または11時間45分にわたってアイドル状態が続くと、スタンバイモードになります(時間の設定方法については、*IDEXX ProCyte Dx簡易操作ガイド*を参照してください)。

スタンバイモードを解除するには、IDEXX VetLab*ステーションの初期画面で「**ProCyte Dx**」アイコン (アイコンは準備中またはスタンバイの状態になっています)をタップしてから、「**OK**」をタップします。

注意:

- + スタンバイモードの解除には、約8分かかります。
- + 試薬の消費を抑えるため、検査器の使用予定がない日は、スタンバイモードを解除しないでください。
- + 検査器は最大1週間の間、スタンバイモードを維持することができます。長期間使用しない場合、気泡や結晶化を防ぐため、検査器を完全にシャットダウンする必要があります。

毎月の洗浄手順の実施

前回の洗浄から30日が経過すると、毎月の洗浄手順を実施するよう求められます。この手順を完了するには約25分かかります。

1. 初期画面の「**ProCyte Dx**」アイコンをタップします。
 2. 「**ProCyte Dx機能チェック**」、「**毎月の洗浄**」の順にタップします。「毎月の洗浄」メッセージボックスが表示され、プロサイト Dx*のサンプルトレーが開きます。
 3. メッセージを読み、洗浄の所要時間が業務に影響を及ぼさないことを確認してください。
 4. IDEXXハイドロクリンがない場合は、5%漂白剤を用意してください。
 - + ろ過処理されたプレーンの6%次亜塩素酸ナトリウムであるClorox*(クロロックス製)漂白剤を使う場合は、2.5 mLの漂白剤と0.5 mLの脱イオン水 / 蒸留水を混ぜ合わせてください。
 - + ろ過処理されたプレーンの7.5%次亜塩素酸ナトリウムであるクロロックス製漂白剤を使う場合は、2.0 mLの漂白剤と1.0 mLの脱イオン水 / 蒸留水を混ぜ合わせてください。
- 重要:**界面活性剤不使用の、ろ過処理された無香料の漂白剤のみ使用できます。ゲル状、高効果、屋外用、香り付き、または飛沫の出ない漂白剤は、検査器に使用しないでください。
5. IDEXXハイドロクリン (または5%漂白溶液) 2 mLを、13 mm x 75 mmの (プレーンまたはEDTA処理・洗浄済みの) チューブに分注し、チューブを検査器のサンプルトレーにある標準アダプターに挿入します。

6. 「**OK**」をタップします。
7. 検査器の「**スタート**ボタン」を押して、毎月の洗浄手順を開始します。初期画面のProCyte Dxアイコンは「準備中」となり、毎月の洗浄手順の完了率を表すプログレスバーが表示されます。
8. 検査器の品質管理を実施します (以下の指示を参照してください)。

品質管理ロットの追加

1. 初期画面の「**ProCyte Dx**」アイコンをタップします。
2. 「**品質管理**」、「**QCロット追加**」の順にタップします。
3. バーコードスキャナーをお持ちの場合は、e-CHECK* (XS) のアッセイシートの最初のバーコードをスキャンしてください。バーコードスキャナーをお持ちでない場合は、「**品質管理バーコードを入力**」テキストボックスにバーコードを入力し、「**次へ**」をタップします。
4. 残りのバーコードについても、**ステップ 3**を繰り返します。各バーコードを入力し終わると、品質管理バーコードグループボックスにバーコードが表示されます。バーコードの入力が正常に完了すると、バーコードの左側に緑色のチェックマークが表示されます。バーコードが無効 (存在しない、または期限切れ) と判定された場合は、バーコードの左側に赤いXとエラーメッセージが表示されます。
5. 「**次へ**」をタップします。これで、品質管理画面にQCロットが表示されます。

品質管理の実行

1. 初期画面の「**ProCyte Dx**」アイコンをタップします。
2. 「**品質管理**」をタップします。
3. 使用したいプロサイト Dx品質管理 (QC) ロットを選択してから、「**QC測定**」をタップします。

注意:有効なQCロットがない場合、新規のQCロットを追加してください。
4. e-CHECK (XS) のバイアルを、15分以上かけて室温 (18°C~25°C) に戻します。バイアルが室温を超えないようにしてください。

注意:バイアルを手で温めないでください。
5. キャップがしっかりと閉まっていることを確認し、e-CHECK (XS) のバイアルを静かに転倒混和させて、バイアルの底にあるセルボタンを完全に浮遊させてください。

注意:e-CHECK (XS) を機械で混和しないでください。
6. 「**次へ**」をタップします。プロサイト Dxのサンプルトレーが開きます。

7. サンプルトレイの所定の位置にQCアダプターがあることを確認します。
8. 直ちに、e-CHECK (XS) のバイアルをチューブアダプターにセットします。
9. 「OK」をタップします。IDEXX VetLabステーション初期画面が表示されます。
10. 検査器の「スタートボタン」を押します。
11. e-CHECK (XS) バイアルは1時間以内に冷蔵庫に戻してください。
注意:e-CHECK (XS) は、室温で1時間以上放置しなければ、開封してから14日間にわたり品質が保たれます。

検査器の電源を入れる / 切る

週に一度は、検査器およびProCyte Dxコンピュータ (IPU)、IDEXX VetLabステーションの電源を切ることをお勧めします。
ポイント: プロサイト DxとIPUの電源を切る場合は、検査器がスタンバイモードになる前に、その日の終業時に電源を切ります。

検査器の電源を切る:

1. 初期画面の「ProCyte Dx」アイコンをタップします。
2. 「電源オフ」をタップします。「電源オフ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「OK」をタップします。IPUの電源は自動的に切れます。
4. 検査器のアラームが鳴ったら、検査器の右側にあるスイッチで電源を切ります。
5. IDEXX VetLabステーション初期画面で「シャットダウン」をタップすると、電源が切れます。

検査器の電源を入れる:

1. IDEXX VetLabステーションコンピューターの電源が入っており、タッチスクリーンモニターに初期画面が表示されていることを確認します。必要に応じて画面左上の「ホーム」をタップし、初期画面にアクセスしてください。「ProCyte Dx」アイコンが「オフライン」状態 (黒) を示します。
2. 「ProCyte Dx」アイコン、「ProCyte Dxの起動」の順にタップします。
3. 初期画面の「ProCyte Dx」アイコンが「オフライン」(黒) から「準備中」(黄) に変わったら、プロサイト Dxの右側にあるスイッチを使用して電源を入れます。プロサイト Dxがさまざまなセルフチェック手順を実行します (セルフチェックで不合格になった場合は、IDEXX VetLabステーション初期画面にお知らせメッセージが表示されます)。このプロセスには約8分かかります。

4. セルフチェックを通過すると、初期画面のプロサイト Dxアイコンが「準備完了」状態 (緑) に変わり、プロサイト DxのLEDも緑 (点灯) になります。

試薬キット / 染色パックの交換

試薬キット / 染色パックが空になったり期限切れになったりすると、お知らせが表示されます。試薬キット / 染色パックの残量が少ない、または使用期限が近づいている場合は、すぐに交換するか、後で交換できるよう通知を受け取るかを選択できます。

試薬キットの交換:

1. お知らせメッセージの「試薬キット交換」か初期画面の「ProCyte Dx」アイコンをタップしてから、「試薬キット交換」をタップします。
2. 試薬キットのバーコード2をスキャンして、「続行」をタップします。
3. 新しい試薬キットの開封タブを引っ張って開封し、試薬シエルフを開け、検査器の横または下に置いてください。



4. 3本のボトル、システム希釈剤、廃液用コンテナのキャップを取り外し (必要に応じて純正アクセサリキットのキャッププリムカバーを使用)、脇に置いておきます。ボトルラベルの色とシェルフの色を照合して、ボトルの順番が正しいことを確認してください。



5. 試薬キットにクイックコネクットトップを装着し、プローブが3本の試薬ボトルと希釈剤、廃液用バッグに挿入されていることを確認してください。



6. 「OK」をタップします。
7. 古い試薬キットから各試薬ボトルを慎重に取り出し、適用される地域の廃棄物関連法に従って各ボトルの内容物を廃棄します。そして、新しい試薬キットのボトルに付いていたキャップを、古い試薬キットのボトルに装着します。

染色パックの交換:

1. お知らせメッセージの「染色パック交換」か初期画面の「ProCyte Dx」アイコンをタップしてから、「染色パック交換」をタップします。
2. 染色パックの箱のバーコード2をスキャンして、「続行」をタップします。
3. 染色パックコンパートメントのカバーを開き、キャップを新しい染色パックにをねじ込みます。この際、各プローブを必ず適切なパックに挿入します（**キャップの色と染色パックのラベルの色を合わせます**）。



4. 新しい染色パックをコンパートメントに入れ、コード状の部分が染色パックの前に来るようにし、染色パックにしわが寄っていないことを確認します。染色パックコンパートメントのカバーを閉じます。



5. 「OK」をタップすると、交換が完了します。

IDEXXテクニカルサポート

米国/カナダ: 1-800-248-2483

欧州: idexx.eu

オーストラリア: 1300 44 33 99

ニュージーランド: 0800 83 85 22

ブラジル: 0800-777-7027

中南米: tecnico-latam@idexx.com

中国: 400 678 6682

韓国: 080 7979 133

台湾: 0800 291 018

日本: 0120-71-4921



06-8839278-81

IDEXX

IDEXX プロサイト Dx (動物用一般医療機器|血球計数装置)

© 2023 IDEXX Laboratories, Inc. 無断転載を禁ず。• 06-0039278-01

*e-CHECKはSystem Corporationの商標です。CloroxはClorox社の商標です。ProCyte Dx、IDEXX VetLab、VetCollectは、IDEXX Laboratories, Inc.、あるいは、米国および/またはその他の国におけるその関連会社の商標または登録商標です。Greiner Bio-OneおよびVacuetteは、C.A. Greiner & Söhne GmbH, LLC、あるいは、米国および/またはその他の国におけるその関連会社の商標または登録商標です。